

総会資料

平成23年度事業計画（案）

平成23年度当初予算（案）

平成23年度事業計画（案）

1.はじめに

政治が停滞しております。国会は、音程のずれたオーケストラの如く、不協和音がやまない状況に陥り、議員はお互いの揚げ足取りに終始しております。国家の財政が破綻目前ということ、そして高齢化社会を迎えて医療費、介護費などの社会事業費の増額が必須の状態の中で、どうするのかという理念、今後の日本丸の進路が見えてきません。収入が減ってきた、でも現在受けているサービスは低下させてほしくない国民とその国民の付託を受けた議員から厳しいことが発せられず、すべての懸案事項が後送りされていることに日本の行く末が案じられます

現在において日本の国がおかれている状況は、当然、本会のような小さな法人組織にも同じように陥ってきます。新公益法人移行を目指して収益事業を見直し、公益事業を増やすべく検討をしてみました。本会は社会の要請である「diversity多様性」に基づき、顧客（会員）満足という面から、どんな小さな事業でも、また集客数の得にくい事業でも実施してみました。今後は収益面も含めた多面的な評価を実施して事業を遂行していくことが求められています。

公益社団法人への移行認定へ向けて定款変更の案を提案し、総会にて会員の皆様にご審議をいただき、承認を受けましたが、主務官庁から再提出という指導を受けております。定款改正について再度のご承認を受けることとなりますのでご協力のほどよろしく申し上げます。他医療職能団体に先駆けて進むゆえに、悩みも大きいですが、本会は「公益目的である県民のために」と「職能団体

の会員のために」をバランスよく調整し活動していきます

平成23年度事業計画案について、昨年と大きな変更はありませんが、昨年に引き続き放射線技師のスキルアップを目指して読影能力を向上させるための講習会を地区ごとに開催していきます。是非とも出不精な心にむち打って出席ください。またマネージメント・セミナーも毎回テーマを決めて定期開催し、リーダーの育成に一役買っていきつもりです。

本会は先人達によって昭和26年に発足した59年の歴史をもった組織です。今年度は本会創立60周年となり、ささやかですが記念祝賀会を計画しておりますので会員の皆様と一緒に60年の歴史を感じ、将来に思いを、また夢を馳せたいと思います。会員各位の変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。

2.基本方針

- 1) 「*improvement*改善」と「*diversity*多様性」
- 2) 「*complete lifelong education*生涯教育の充実」
- 3) 「*study and investigation*研究と調査」
- 4) 「*cooperation*連携から*collaboration*協働」

3.事業計画

3.1.職業人としての質の向上

- 1) 認定講習会・セミナーの定期開催と開催方法などの見直し
・胸部撮影認定講習会

- ・ 上部消化管検査認定講習会
- ・ SARTセミナー
- ・ 放射線技術部門マネジメント・セミナー
(医療安全、接遇・クレーム、医療経営、人材育成)
- ・ CT検査認定講習会
- ・ 読影力向上講習会 (地域開催セミナー・地区会と共催)
- ・ 放射線工業界との合同開催企画
- 2) 会員講師の育成と体制づくり
- 3) 他県放射線技師会や他団体との合同講習会企画推進
 - ・ 関東甲信越放射線技師学術大会への協力
 - ・ 埼玉県医師会主催事業への支援
 - ・ 埼玉臨床画像研究会
 - ・ 日放技学会関東部会との合同開催企画
 - ・ 日本放射線技師会学会との合同開催企画
 - ・ 他学会 (関東エリアレベル) 埼玉開催の推進 (開催支援、後援)
- 4) 研究会活動の見直し
- 5) アドバイザー (技術・業務支援) の創設・育成
- 6) 研修病院の創設
- 7) 医療被ばく線量の適正化

3.2. 組織運営に関わる事業

- 1) 会員データベースの再構築法の検討
- 2) 行政との連携・ 埼玉県医療整備課との頻繁な情報交換
- 3) 公益法人制度改革への対応・準備

3.3. 公益事業

- 1) 学術情報の提供 刊行誌「埼玉放射線」の発刊
- 2) 市民公開講座の開催
- 3) 医療画像展の開催と支援
- 4) 市民向けホームページの充実
- 5) 医療被ばく相談の迅速な対応

3.4. 情報

- 1) 会員向けホームページの充実
- 2) メールマガジンの有効利用
- 3) 学術データベースの構築

3.5. 財務

- 1) 健全財務状況の継続
- 2) 新公益法人会計基準への適応

3.6. その他

- 1) 役員外の会員登用によるプロジェクトチームの創設
- 2) 中長期計画の策定
- 3) 医療技術関係団体との連携
- 4) 技師会センター長期修繕計画の立案

ご審議のほどよろしくお願い致します

平成23年度当初予算（案）

自平成23年4月1日 至平成24年3月31日

社団法人 埼玉県放射線技師会

単位：円

科目	当年度予算額	前年度当初予算額	増減額	備考
事業活動収支の部				
事業活動収入	16,075,000	18,115,000	▲ 2,040,000	
会費収入	11,645,000	11,645,000	0	
正会員会費収入	11,070,000	11,070,000	0	@9000×1230
賛助会員収入	575,000	575,000	0	@25000×23社
事業収入	4,240,000	6,310,000	▲ 2,070,000	
会誌広告料収入	1,740,000	2,500,000	▲ 760,000	@120000×4社 @60000×21社
研修事業収入	2,000,000	2,000,000	0	各種認定講習会・マネジメントセミナー
その他の事業収入	400,000	810,000	▲ 410,000	地域読影会・学術大会
福利厚生事業収入	100,000	1,000,000	▲ 900,000	センター利用料
寄付金収入	0	0	0	ソフトボール大会
一般寄付金収入	0	0	0	
一般寄付金収入	0	0	0	
雑収入	190,000	160,000	30,000	
受取利息収入	10,000	10,000	0	
雑収入	180,000	150,000	30,000	日放技業務委託費@150×1200
事業活動支出	15,550,000	17,898,000	▲ 2,348,000	
事業費支出	9,150,000	10,290,000	▲ 1,140,000	
学術・教育費支出	2,300,000	2,010,000	290,000	講習会・学術大会等
出版事業費支出	5,000,000	5,680,000	▲ 680,000	出張勉強会・SARTセミナー
連絡費支出	150,000	150,000	0	会誌印刷料・会誌郵送料
福利厚生費支出	400,000	1,200,000	▲ 800,000	郵送料
調査事業費支出	100,000	300,000	▲ 200,000	ソフトボール大会・慶弔費
公益事業費支出	1,200,000	950,000	250,000	IT調査費等
その他の事業費支出	750,000	1,488,000	▲ 738,000	医療画像展・公開講座・小冊子
表彰費支出	200,000	200,000	0	被曝相談等
地区会連絡調整費支出	0	492,000	▲ 492,000	表彰状作成・記念品等
北関東地域技師会費支出	0	246,000	▲ 246,000	6地区 @400×1230
賃借料支出	550,000	550,000	0	@200×1230
管理費支出	5,650,000	6,120,000	▲ 470,000	リース代（コピー機・骨密度測定機）
給料手当支出	1,150,000	1,150,000	0	人件費
会議費支出	1,000,000	1,200,000	▲ 200,000	理事会・常任理事会
旅費交通費支出	200,000	200,000	0	交通費
通信運搬費支出	370,000	370,000	0	携帯電話利用料等
消耗什器備品費支出	200,000	300,000	▲ 100,000	
消耗品費支出	350,000	350,000	0	
修繕費支出	100,000	100,000	0	
光熱水料費支出	200,000	200,000	0	
租税公課支出	150,000	150,000	0	固定資産税・収入印紙代等
業務委託費支出	900,000	900,000	0	税理士顧問料等
支払手数料支出	300,000	300,000	0	振込手数料等
総会費支出	430,000	600,000	▲ 170,000	
保険料支出	150,000	150,000	0	
渉外費支出	100,000	100,000	0	
雑費支出	50,000	50,000	0	
事業活動収支差額	525,000	217,000	308,000	
投資活動収支の部				
投資活動支出	2,000,000	10,500,000	▲ 8,500,000	
特定資産取得支出	2,000,000	10,500,000	▲ 8,500,000	
記念行事積立資産支出	1,000,000	500,000	500,000	60周年記念行事
減価償却引当資産取得支出	1,000,000	10,000,000	▲ 9,000,000	
有形固定資産取得支出	0	0	0	
什器備品支出	0	0	0	
投資活動収支差額	▲ 2,000,000	▲ 10,500,000	8,500,000	
予備費	42,000	200,000	▲ 158,000	
当期収支差額	▲ 1,517,000	▲ 10,483,000	8,966,000	
前期繰越収支差額	1,517,000	12,000,000	▲ 10,483,000	
次期繰越収支差額	0	1,517,000	▲ 1,517,000	

平成23年度一般会計予算の概要について

会員の皆様におきましては、平素から当会の活動にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

平成21年度、22年度は、一般会計予算の内容を予算書だけでなく、概要についても文章でご説明させていただきました。平成23年度につきましても前年度同様、ご説明させていただきます。

平成23年度一般会計予算につきましては、本年10月までの事業の実施状況と予算執行状況をふまえ、次年度の事業計画にもとづき作成いたしました。

次年度予算において大きく変更のあったものにつきましてご報告させていただきます。

1 事業収入について

平成23年度の事業収入につきましては、会誌広告料収入・その他の事業収入・福利厚生事業収入それぞれが減額となりました。会誌広告料収入については広告掲載申込の減少と掲載広告の縮小などにより、昨年度の予算額を大きく下回りました。その他の事業収入では、いままで技師会センター2階部分の賃貸の収入がありましたが、次年度ではこの分の収入がなくなるため減額となっております。また、福利厚生事業収入につきましては例年行っておりました賀詞交換会を60周年記念式典と合わせて行う予定でありますので、こちらの会計については特別会計として別枠で収支の計上をいたします。

2 事業費・管理費支出について

福利厚生費支出につきましては、収入同様、賀詞交換会の支出が特別会計枠となりますので、この分が減額となります。地区連絡調整費支出につきましては、次年度より当会の会計に含め処理を行っていくため学術・教育費支出、公益事業支出へそれぞれ振り分け予算立てを行っておりません。したがってこの振り分け分がそれぞれの支出で増額となっております。また、北関東技師会費支出につきましても次年度より廃止の方向とのことで予算立てはしておりません。

3 投資活動支出について

投資活動支出につきましては今年度と同様、次年度も記念行事積立資産支出で60周年記念行事のための積立を行います。また、今年度の繰越収支差額が1,000,000円強となると予想されますので、この分が遊休財産とならないよう減価償却引当資産取得支出として積立を行います。

以上が平成23年度一般会計予算の概要となります。

ご審議のほどよろしく願いいたします。

